

受洗者の感想

幼いイエスのテレジア小島和子

美しい満開の桜にも祝福され、復活徹夜祭洗礼式にて、新しい命に与りました。お恵みと喜びに満ちたこの日を迎えることが出来ましたのは、神父様、代母様、そして皆様に祈って頂いたお陰と、感謝の気持ちでいっぱいです。

中学でカトリックと出会い、神様を求めながらも、迷いと葛藤の中で長い準備期間が必要でした。また私の家族親族にはキリスト教の信者は無く、カトリックに入信するには、勇氣と覚悟が求められました。が、お導き下さった神様に全てを委ね、大きな愛の中へ「えいっ」と飛び込む心境での洗礼式でした。受洗はスタート、これから学びと信仰を深め、神様の御旨にかなった生き方を心がけたいと思います。幼いイエスの聖テレジアのように父親の胸に何の恐れもなくまどろむ幼児になって、神様を信頼し、神様の御声に耳を澄ませながら、愛と感謝をもって祈りの日々を重ねてまいりたいと思います。

聖クララ 柳生 聖子

この度、南山教会の一員に加えていただけただけに感謝いたします。

イエズス様との出会いは中学一年生の宗教の授業でした。それまでキリスト教とは無縁な子供でしたが、初めての授業で教えられた『聖書』と『手を合わせてお祈りをする』ということに衝撃をうけ子供心に感動的であったことを覚えています。

それ以降は、信者である良い友に恵まれ、イエズス様も教会も身近には感じていましたが、信仰を意識することなく過ごしていました。この間、放蕩息子のような生活をしていた私に、イエズス様はずっと寄り添っていて下さったのだと思います。

イエズス様との出会いから五年経ち、ボクダン神父様のお話を聞く機会を得て、やっと自分と向かい合い、信仰を受け入れる準備ができたことを確信できました。今回、洗礼を受けた時の感動は子供の時に受けた感動にも勝り、喜び多いもので、神様のお恵みをひたすら感謝いたします。

エディット 松本 了子

皆様、こんにちは。私は神様のお恵みの中で、代母さん、ヨセフ会の皆さんの力をお借りし、車イスに乗せて頂き、受洗を授かりました。ありがとうございます。

聖書にある様に洗礼を授かった私の額には印が付けられました。その印は私がどんな暗闇に紛れていても、主が見つけ出し、天に引

き上げて下さる尊い印です。そのことを心に留め、神様との時間を大切に、祈りの中で変化する自分を発見し、いつも神様を感じ、感謝の内に歩んで行きたいと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。

幼いイエスのテレジア生駒紀子

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのものに来なさい。休ませてあげよう。」掲示板にあったこの一文に導かれて、毎週のミサに与らせていただくようになり約二年になります。今は、ようやく洗礼を授けていただくことができた感激とともに、これまで感じたことのない温かいものが満たされています。

苦しい時に救いを求めて通い続けた南山教会は、いつも温かく迎えてくれました。キリスト教に出会えたこと、本当に感謝しています。きつとあの苦しかった時期は神様が招いて下さっていたのです。

入門講座では、私の要領を得ない質問にもいつも親切に答えてくださったボクダン神父様、代母を快く引き受けてくださった勝間田さん。そして温かく受け入れてくださった教会の皆様、心より感謝致しております。今後共どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

バレンタイン 大谷 孝憲

家内がマリア様のもとへ旅立つから一年が経過しました。心の穴が塞がることはないと思いますが家内が一緒にいてくれたこと、大切にしてくれたことを思い出し、家内が私のために残してくれた時間を大切にしたいと思えます。

この一年間は、毎日のお祈り、毎日のミサ、そしてアンジェイ神父の講座受講を通して洗礼の準備をして来ました。

洗礼式を終え、ここまで導いて頂いたアンジェイ神父ほか南山教会の司祭の方々を始め多くの方の支援を頂き感謝しています。

家内が聖霊に導かれ、マリア様の取り次ぎによって主のもとで安らかに過ごせますように、また、私自身も信仰と希望と愛の道を歩むことが出来て、再び家内と共に過ごす時間を持つようにお祈りします。



第2回運営委員会議事録

2012年5月6日

司祭団より

司教様年頭書簡「福音宣教の具体化」の行動の一つとして4月からの入門講座案内を中日新聞のチラシに二千部挟み込んだ。残念ながら今のところ反響はない。

司祭館と信者会館を結ぶ電話線が断線している様で修理が必要。見積もりを取ったところ相当の費用がかかるので今後営繕委員会と検討していきたい。

報告事項

4月15日ヨセフ会全体会

前年度活動報告、今年度役員選出、各班班長選出、信徒協役員選出、今年度活動計画等の報告があった。

4月22日信徒協委員会総会

布池教会にて七十名ほどの出席で開催された。提言タイムでの話し合いの中で、信徒協の活動が信徒の皆様にも認識されていないのでは、宣教司牧評議会との違いが分からない、北陸の方が日程的に参加できないなどの意見があった。

4月30日宣教司牧評議会総会

布池教会で百二十名弱の参加者で行われた。例年の内容に加え、司教様年頭書簡に基づく「福音宣教の具体化」を、各小教区・修道会での

ように行っているか発表があった。
四旬節・復活祭の祭儀、パーティー等の反省

各祭儀の会衆人数は例年よりも多かった。受洗された方も二十一名と多かった。パーティーも皆様のご協力のおかげで盛況の内に終わることができた。

運営委員名簿

名簿の正誤確認を行った。最終版は六月運営委員会で配布する。

二〇一一年度会計報告について

財務委員長から公認会計士の監査役承認済みの昨年度会計報告の報告と説明がなされた。

報告書内容は別添を参照。

納骨堂建設に関するアンケート中間報告が主任司祭より紹介された。

締め切りは五月十三日。未提出の方はお早めに提出ください。

審議事項

今年度バザー

実行委員長は小池康弘氏に就任受諾していただいた。副委員長はこれから人選。運営委員会全体でバックアップして行くことを確認。六月から活動開始する。

運営委員会副委員長の選任

神戸六郎氏、石田周子氏が就任となり、規約に基づき主任司祭から任命を受けた。

5月27日教会美化について

ガラスの清掃など、これまで未着

手のところがある。次週ヨセフ班長会にて、各清掃場所のリーダー決めや段取りを確認する。八時ミサ後に清掃してくださる方のためにも指示担当者を決める。五月第四日曜は、名古屋市全域で清掃の日となっているので、重ならない工夫が必要。

6月24日信徒全体集会

集会進行内容について承認、質問や意見の募集はこれから行う。

避難訓練実施

八月二十六日に実施が決定。これまでの反省事項をもとに実行手順を今後の委員会で詰めていく。

「月報なんざん」の記事内容

どのような基準で記事が掲載されているかを確認した。南山教会信徒の全ての方から原稿を募っている。数年前そのように月報に案内があったが、再度掲載して信徒皆様の誌面であることを認識していただく。誌面の物理的容量もあり、主任司祭の最終判断により掲載されない、あるいは掲載が遅れる場合がある。教会維持費の案内は今後も継続する。

営繕委員会からの提案

「聖堂とカトリック会館屋根防水工事」約百五十万円②「カトリック会館窓枠塗装・補修工事」約百四十五万円③「備品購入」高圧洗浄機と高所作業用の脚立で約二十万円の支出依頼の提案があり
本年度予算内につき承認された。②

についてはそれぞれ三社相見積もりの結果、最安値の業者に決定した。
典礼奉仕者全体集会
六月十七日に行う。内容は六月の運営委員会で審議していく。

各会報告

・典礼委員会

4月5日聖木曜日(主の晩餐のミサ)

4月6日聖金曜日(主の受難の典礼)

4月7日聖土曜日(復活徹夜祭)

4月22日典礼委員会

5月6日信徒のための聖歌練習再開

5月11日名古屋教区典礼委員会「教区典礼研修について」

5月13日マリア祭・典礼委員会

5月20日ミサ後の各会紹介「典礼委員会」の番

5月27日 聖霊降臨の主日にあたり天使ミサ

※5月は聖母月につき、「教会の祈り」を休み「聖母マリアの祈り」を捧げています。

・ボーイスカウト

5月13日親子ハイキング 犬山方面へ四十名参加予定 親子の絆を固めるため

6月10日 スカウトバザー開催

商品の寄付をお願いいたします

・中高生保護者会

4月22日のミサ後にアントニー神父様、梅村シスターをお迎えして第一回保護者会を行った。

次回は6月3日

心の傷の癒しとゆるし

(その11)



B・ノヴァク神父

6・4 第3段階・取り引き

加害者に対する自分の怒りを見つめる多くの人が、苦しい体験をしたときからこの人を自分のもつとも大きな敵としてとか、もつとも危険な人物として見ていたことに気づきます。傷を負わされた多くの人は、自分を守るために加害者の人間としての価値を否定したり、この人が良いところが何一つない悪人であると考えながらも、この人には回心する可能性が全くないと決めつけたりすることがあります。けれども、そのような自分の考え方が意識化されると、それは一方的なものであつて、加害者は不正を行つて、自分を傷つけたことがあつても、この人には悪いところばかりあるのではなく、良いところもあることを認めることができるようになります。場合によっては、自分の苦しみがなくなった相手の行いや言葉の原因、しかも自分と何の関係もない原因と考えられるようなことを見出すことや相手には悪意がなく、その人自身が他の人の悪事や環境の被害者であることが分かる

こともあります。そして、この人が他の人に対する態度や言い方を変えたならば、それとも、この人が生きている状況が変わつたならば、この人も素晴らしい人間になる可能性があることを認めるようになりす。このような可能性を見出すとこの人をゆるすことも可能であると考えるようになりす。この段階において、「ちゃんと謝つてくれるならば」とか、「自分の過ちを認めるならば」とか、「何らかの仕方での私のことを実際に大事にしていることを表すならば」とか、「少なくとも、私の悪口を言うのを辞めるならば」、ゆるしてもいいと考えるようになりす。このような条件を立てることによって被害者は、加害者に自分のゆるしに相応しい人間になつてほしい、言い換えれば、この人を愛することができるようになり、この人が変わることを求めているというこゝなのです。

確かに、イエス・キリストが教えてくださったとおり、真のゆるしは無条件のものですが、相手をゆるすための条件を立てることは、このような無条件のゆるしを目的とする心の癒しの過程におい

て大きな進歩なのです。ゆるす条件を立てること、それとも、それが満たされることによつてゆるすことが可能になるという自分の望みを意識することは、癒しの過程において非常に大切な役割を果たします。例えば、真のゆるしは無条件のものでなければならぬという理由で、この条件をすぐにあきらめるのではなく、それをゆつくりと見つめる必要があるのです。このような条件をうして、私たちはゆるすために満たさなければならぬ必要性、それとも、満たさなければならぬ必要性と思つていられるような自分の欲求を知ることが出来ます。この必要性をはつきりと知らないときにも、それを満たそうとしていますが、それは、盲人が全く知らない道を歩こうとするような努力です。で、目指している目的に到達する可能性が非常に薄いでしょう。けれども、この必要性を知ることによつて目的がはつきりと見えるようになれば、どうすれば良いかを意図的に決めることができま。自分が求めていることをよく見詰めれば、それは、真の必要性ではない、つまり自分にとって真の善ではないことを見分けることも出来ます。結果的に、それを求めるゆえに、それを手に入れる

ように何もしいことを決めることも出来ます。自分が求めていることは、真の善であり、自分に本当に必要なものであると判断すれば、この望みをどこで、またどのようににして満たすことができるかと決めたうえで、実行に移すことも可能になるわけです。

相手をゆるすために満たさなければならぬと思う条件を知るために、たとえば、加害者からもらいたいお詫びの手紙を自分で書いてから、自分がどんな望みやどんな必要性を表しているかという観点からその手紙を分析することが出来ます。

6・4・1 加害者との不健全な絆 (依存関係) を切る

傷つけられた人は、苦しい体験によつて損失したものの、また、心の傷が癒されるために必要なものを知らないならば、加害者だけがこの損失を補うことができる、また、加害者だけがこの必要性を満たすことができる、と考えがちなのです。けれども、自分の損失や真の必要性を知るようになれば、加害者だけではなく、他の人もこの損失を補うことができ、またこの必要性を満たすことができる、加害者こそそのようなことが絶対にできな

いという事実気づくこともあり
ます。私たちは、加害者からお詫
びとか、自分の誤りを認めること
とか、弁償や賠償、また悔い改め
ることなどを頑固に求めつづける
ことよって、加害者が私たちの
必要性を満たさなければならぬ
という考え方にこだわっている限
り、加害者に依存しているのだ
す。場合よってこのようなこだ
わりは、苦しい体験以前の加害者
との依存関係を表すこともありま
す。ときにこのような関係は、愛
や友情の絆と思われませんが、実
際に依存関係であるならば、他の依
存と同じように両者にも害を与え
るもの、また最終的に両者を破壊
するものなのです。その場合は、
傷つけられた心を意識的な手当と
なっている癒しの過程は、この事
実を認識する機会、と同時に、依
存関係を切ること、あるいは両者
の関係を正すことよってこの危
険性を避ける機会にもなるわけ
です。

6・4・2 真の善を知ることの必

要性

取り引きの段階で見出した自分
の欲求が真の必要性であるかどう
かと正しく判断するために、ゆる
しの過程に真の善や幸福の真の源
を認知する努力を伴う必要があり

ます。多くの場合、加害者から求
めていることは、私自身が自分の
中で変えなければならぬことを
表しています。それは、まだ神に
ゆだねていないことであるかもし
りません。それとも、今まで神よ
りも頼りにして、自分にとつ
て神の代わりになっていたもので
あるかもしれません。このものが
なければ自分が生きることができ
ないか、それを失えば生きる意味
がなくなると思ったかもしれませ
ん。加害者が私の条件を果たすこ
とよって、私の精神的な安定が
回復しても、自分が今まで生きて
きた幻想、つまり神以外に真の幸
福を与えることのできるものがあ
るという妄想に戻ることに、また、
幸せになることを不可能にするこ
の幻想が固定されたことになる可
能性があります。言うまでもな
く、このようなことが起こったな
らば、それは受けた傷よりも大き
な問題であり、私たちの状態は、
苦しい体験をする前の状態よりも
悪くなるのです。

もし、加害者がお詫びすること
や私を大事にすることを表すこと
を求めている理由とは、それに
よって自尊心を取りもどすことが
できるということであるならば、
私が自分の真の価値をまだ知らな
くて、私の自尊心が他人の評価や
態度、また他の外面的なものにか

かっていることを意味するので
す。もし、そのような事実を認知
するならば、加害者から何らかの
形で弁償を得るように努めるよ
りも、誰も私から奪い取ることに
できない自分の真の価値を知るよ
うに努める必要があるのです。自
分の真の価値を知らない限り、そ
して自分の価値に関して確信をも
たない限り、加害者から求めてい
るものを手に入れることができ
るもの、私の精神的な安定は、他
の人の状況にかかりつづける
し、私が傷つきやすい人間で、あ
やつりやすい人間でありつづける
のです。

考えてみれば、イエス・キリス
トは、ご自分の身分、つまり神の
子であることを知っておられたゆ
えに、ご自分の真の価値をも知っ
ておられたので、誰もイエスの自
尊心を破壊することができません
でした。そのために、人々はイエ
スを最悪の犯罪人として扱って
も、イエスはご自分の自由を保
ち、最後までご自分の身分に相応
しく生きることができたのです。

6・4・3 悪を許さない

自分が受けた不正のためにお詫
びや他の賠償を要求しないのは、
決して加害者に悪を行い続けるこ
とを許すことではありません。私

たちは賠償をあきらめても、前に
述べたように、加害者の不正な行
動を止める方法、但し不正でない
方法を探さなければならぬので
す。もし、私たちが自分に対して
不正なことを行うのを許すなら
ば、この不正が段々と増えるで
しょうし、他の人も私たちと同じ
ようにその被害者になり得るので
す。正しい方法よって加害者が
これ以上に不正なことができない
ようにすることができらば、
それは自分を守ることになるだけ
ではなく、他の人を守ることにも
なるわけです。

と云っても、ときに、私たち
は、自分を守ることができないた
めに、それとも愛への忠実さのゆ
えに、イエスのように不正を受け
入れることが必要になるかもしれ
ないということを忘れてはいけま
せん。けれども、その時も大事な
のは、絶望に陥っていて受け身の
態度をとる被害者になるのでは
なく、イエスの約束に基づいて愛
と真実の最終的な勝利への希望を
保ちながら、相手の回心の可能性
を信じて、自分の苦しみをとおし
て、例えば自分の忠実な愛を表す
こと、あるいは、相手が行う悪の
酷い結果を表明することによつ
て、相手を回心へと招き、この悪
を止めるように心がける必要があ
るのです。
(つづく)

2011年度決算報告書(2011.4.1～2012.3.31)

一般会計

[収入の部]

単位:円

科目	決算	予算
維持献金	18,279,876	17,700,000
ミサ献金	6,757,396	6,500,000
祭儀献金	4,530,000	4,500,000
墓地料収入	300,000	300,000
その他献金収入	3,278,612	4,500,000
献金小計	33,145,884	33,500,000
特別献金収入	1,059,961	2,000,000
受取利息	13,507	20,000
雑収入	53,329	80,000
収入合計	34,272,681	35,600,000

[支出の部]

科目	決算	予算
典礼書購入	312,880	450,000
聖具補充	155,486	50,000
花・ローソク・ホスチア	410,953	500,000
儀典費小計	879,319	1,000,000
復活祭	44,064	180,000
堅信式	56,413	60,000
敬老の日	145,122	140,000
クリスマス	46,945	40,000
成人式	20,000	20,000
諸行事	52,264	100,000
集会費小計	364,808	540,000
宣教司牧費	883,634	750,000
墓地費	10,000	20,000
黙想会費	30,000	30,000
教区分担金	2,447,380	2,500,000
宣司評分担金	244,738	250,000
神学院助成金	500,000	500,000
その他寄付金	1,275,093	1,200,000
寄付金小計	1,775,093	1,700,000
運営委員会	0	20,000
典礼委員会	23,627	100,000
広報委員会	90,778	450,000
典礼奉仕者の会	130,774	230,000
大樹の会		30,000
ヨセフ会	18,450	130,000
マリア会	55,183	150,000
青年会	20,247	50,000
中・高生会	237,053	400,000
中・高生父母の会	32,041	50,000
教会学校	474,612	600,000
子ども部屋	39,057	50,000
レジオマリエ	0	0
ボーイスカウト	230,000	230,000
信徒協	6,200	30,000
南山手話の会	41,920	50,000
要約筆記者の会	20,919	20,000
英語ミサ	24,878	30,000
諸活動費小計	1,445,739	2,620,000
司祭活動補助費	3,360,000	3,360,000
特別献金支出	1,059,961	2,000,000

[支出の部 続き]

単位:円

科目	決算	予算
建物修理	460,186	150,000
オルガン修理	0	300,000
保守管理費	2,042,345	1,700,000
環境整備費	0	200,000
その他	0	1,350,000
修繕費小計	2,502,531	3,700,000
車両維持費	835,698	800,000
印刷費	976,462	910,000
事務用消耗品費	249,511	150,000
旅費交通費	285,680	10,000
通信費	1,683,039	1,500,000
消耗品費	720,594	500,000
水道光熱費	4,139,703	4,200,000
支払保険料	186,550	80,000
雑費	25,017	50,000
給料	5,460,000	7,400,000
雑給料	553,024	510,000
退職金	0	0
法定福利費	713,781	1,020,000
人件費小計	6,726,805	8,930,000
支出合計	30,832,262	35,600,000
消費収支差額	3,440,419	0

平成24年5月6日

以上の通り、ご報告致します。

財務委員長 伊藤恭輔

監査の結果、公正かつ正確に処理されていることを認めます。

監査役 公認会計士 坂浦正輝

教区年間テーマについての 南山教会の取り組み

2月の運営委員会で、今年の名古屋教区のテーマである「福音宣教の具体化」について、日常生活の中で意識して行っていることを月報の紙面で分かち合うことを決めました。小さなことでも共有していくことに意味があると考えていますので、ご協力をお願いします。



4月30日 宣教司牧評議会



4月15日 教会学校始業式



4月29日 子供とともにささげるミサ

カトリック教会のカテキズムより

1367 キリストのいけにえとエウカリスチアのいけにえは、ただ一つのいけにえです。「ささげものは同一です。かつてご自分を十字架の上でささげたキリストが、今司祭の役務を通してささげられているからです。ただ一つ違うのは、ささげ方だけです」。「そこで、ミサ聖祭で行われるこの神聖ないけにえには、十字架上の祭壇で『一回限り血を流して自らをささげられた』のと同じキリストが現存し、血を流さずにささげられます。…このいけにえは真のなだめのいけにえです」。

1368 エウカリスチアは、教会のいけにえでもあります。キリストのからだである教会は、その頭の奉献をともにします。キリストとともに、教会全体がささげられます。教会は、御父のもとであらゆる人のために行われるキリストの執り成しにあずかります。エウカリスチアでは、キリストのいけにえはまた、そのからだに属する人々がささげるいけにえとなります。信者たちの生活、賛美、苦しみ、祈り、労働などはキリストのそれとキリストのまったき奉献とに合わせられ、新たな価値を得るのです。祭壇上に現存するキリストのいけにえによって、すべての時代のキリスト者がキリストの奉献に一致することが可能となります。

ローマのカタコンベでは、教会はしばしば礼拝の姿勢で腕を大きく広げて祈る婦人の姿で描かれています。十字架上で腕を広げたキリストのように、キリストによって、キリストとともに、キリストのうちに、教会はすべての人のために自らをささげ、執り成します。

南山句会

平成二十四年四月四日



とりどりの色掃き寄せて春惜しむ
なだれ咲く水仙むらや日本海

紀子

あれほどに摘みし土筆も一小鉢
教会のお告げの鐘や花の空

牧子

亡き母の思ひ出語る御殿雛
水仙の咲き揃ひたり墓の道

とく子

待ちたりし今年の花に会ひにけり

光子

西行忌我も願はむ花ある日
花馬酔木山路明るくなりけり

洋子

芽吹きには厳し過ぎたり暁の風
春風の頬をなでゆく庭仕事

瑞子

万蕾の花の下より枝の弥撒
花冷や聖週間をこころして

義子

朝ミサへ白木蓮の道標
未開地のシスター輝く花の中

せつ子

毎月第一水曜日午後一時半
マリア館一階集会室

信者の消息

転入

ようこそ

洗礼者ヨハネ 加藤秀俊 (多治見教会)

転出

いつまでもお元気で

クララ 町村治美 (小金井教会)
洗礼者ヨハネ 加藤秀俊 (多治見教会)
マリア・テレジア 砂野淳子 (精華教会)
マリア・フランチェスカ 光井秀子 (玉造教会)
ヨセフ 光井雅俊 (玉造教会)
マリア・フランシスカ 鐘ヶ江幸子 (渋谷教会)
ミカエル 鐘ヶ江実佳 (渋谷教会)
マルチノ 鐘ヶ江直樹 (渋谷教会)

帰天

ご冥福をお祈りいたします

マリア・ベルケデッタ 西村千鶴子 (88歳)
マリオ・ミカエル 福井彦雄 (90歳)
テレジア 初田瑞子 (90歳)
マリア 真野英代 (69歳)
クララ 山田喜久子 (86歳)
モニカ 神尾初子 (100歳)

教会維持費

4月は2.926.500円の維持費が納められました。有難うございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしく願います。

2012年5月・6月度行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
5月	聖母の月 20(日)主の昇天 27(日)聖霊降臨の主日	(決算書の承認) 13(日)マリア祭の聖母行列(9:15)(母の日) 27(日)天使ミサ日英合同ミサ(9:30) 27(日)教会美化決算書提出	6(日)運営委員会 11(金)マリア会例会(懇談会) 13(日)典礼委員会 13(日)ヨセフ会班長会 19(土)10:30子ども部屋 26(土)要約筆記付きミサ 27(日)教会学校潮干狩り	13(日)世界広報の日 献金日 17(木)司祭協議会 27(日)わだち祭り (恵方町教会) (日)建設共同基金総会
6月	聖心の月 3(日)三位一体の主日 10(日)キリストの聖体 15(金)イエスのみ心 24(日)洗者聖ヨハネの誕生 29(金)聖ペトロ・パウロ使徒	10(日)初聖体/子供のみサ教会学校パーティ 13(水)アントニー師霊名の祝日 17(日)典礼奉仕者全体集会 24(日)信者全体集会	1(金)マリア会例会(懇談会) 3(日)運営委員会 10(日)スカウトバザー 10(日)典礼委員会 16(土)10:30子ども部屋 17(日)ヨセフ会班長会 23(土)要約筆記付きミサ 24(日)信者全体集会	21(木)司祭評議会 24(日)聖ペトロ使徒座への献金